

1 0 各質問のその他意見について

問 1 2 あなたは今後、男女が、家事・育児・介護・地域活動などに積極的にかかわっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

1	人に対する思いやり
2	常勤社員のワークライフバランスの改善（主に勤務時間の短縮）

問 1 6 近年、男女とも晩婚化や非婚化が進んでいると言われますが、その理由についてどのように思いますか。

1	自己本位な感覚
2	特に理由はないと思う。結果的に晩婚や非婚になっているだけ
3	男性の意識レベルが低い(社会的、世間的、精神的)
4	親戚等の付き合いがわずらわしい
5	将来の世代に希望を見出せない（外 3 件）
6	子供を残すという義務感の喪失
7	個人主義が多く、個々の主張が強いため、出会い・交際＝結婚の図がない。生活の多様化（世の中）個人が結婚・家庭にあまりとらわれない？
8	経済的な問題（外 11 件）

問 1 7 少子化がわが国の深刻な問題となっていますが、その理由は何だと思われますか。

1	不妊症の増加（外 8 件）
2	避妊具の進歩と堕胎の安易さ
3	子供をたくさん作る民族性向がうすらいでいる
4	個人主義が多くなっているから

問 1 9 もし、あなたに介護が必要になったら、主にだれに介護をしてもらいたいですか。

1	軽い介護であれば配偶者、負担が大きい状態であれば病院
2	介護必要なし。延命の必要なし

問 2 0 一般的に女性が仕事をもつことについて、あなたはどう思いますか。

1	本人の状況に応じて決めるべき
2	その人の意思に任せればよい（外 20 件）
3	子供がいてもずっと働ける環境及び社会が支援できるような空気になってほしい

問 2 1 あなたは、女性の職場進出や職場での処遇について、ここ数年でどのように変化したと感じますか。

1	変化は大企業、公務員のみ
2	賃金は低いのに働く時間、仕事内容が増えた
3	セクハラ対策担当者が配置された

問 2 2 あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だと思われませんか。

1	小さい子どもがいると面接時に断られることも多いそうなので、企業側も変わらなければ子をもつ母親の仕事環境は何も変わらないとおもう
2	女性だけでなく様々な再教育、再チャレンジの制度を充実させる
3	夫が家事や育児を手伝いやすくなるような社会、職場の雰囲気を作る

問 2 3 あなたは、子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。

男の子

1	本人の希望のところまで (外 15 件)
---	----------------------

女の子

1	本人の希望のところまで (外 15 件)
---	----------------------

問 2 7 あなたはこれまでに、配偶者・パートナー恋人(元配偶者・元パートナー・元恋人)から暴力等を受けたとき、あなたはどうされましたか。

1	後日、抵抗した
2	別れた
3	謝って解決した

問 2 8 だれにも相談しなかった(できなかった)のどのような理由からですか。

1	自分もやり返してしまったから
---	----------------

問 2 9 妊娠・出産をになう女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがありますが、女性が生涯にわたり心身共に健康であるために、どのようなことが大事だと思いませんか。

1	女性の体やホルモンバランスの変化による体調、精神的バランスの変化に対し、配偶者の理解と協力が必要であると思う
2	子どもが欲しくても出来ない人は私の周りにも多数いる。何年にも渡る不妊治療は肉体的だけでなく、経済的にも大変で挫折する人もいます。高額な不妊治療に対してもう少し助成があると、後の少子化問題に必ず役に立つ。
3	医療費の負担を減らして欲しい

問30 あなたは、地域活動に参加されていますか。

1	消防団
2	商工会

問32 男女共同参画社会の形成のために、今後どのような取り組みが鹿屋市には必要だと思いますか。

1	男女を問わず、職に対する意識向上のみである
2	陸の孤島を解消してください。少しでも早く！！先が見えるかも。
3	もっと市民の声を聞く努力が必要だと思う
4	まずは男性側の意識改革を行うべきでは？
5	まずはいろんな人に知ってもらうのが先。こういう企画があるのをはじめて知った。地域活動も一部の人だけのものという感じがする。
6	情報不足をなくす。新聞広告を何も見ていない人には情報が伝わらない。郵送していただいて初めて知った。
7	少子化、結婚に対する対策を考えてほしい
8	子供も一緒になって参加できる企画をする
9	鹿屋市は近隣町村と比べ保育料が高すぎるので安くする。合併しても税が上がっただけ

1 1 男女共同参画社会づくりに関する意見・要望等

男女共同参画社会づくりに関する自由意見は、全部で 163 件であった。

その内訳は「意識について」35 件、「家庭生活について」8 件、「育児について」13 件、「介護関係について」4 件、「仕事について」13 件、「教育について」7 件、「人権について」6 件、「地域活動について」6 件、「市の男女共同参画施策について」24 件、「男女共同参画全般」23 件、「その他」24 件となっている。

意見の主なものについては以下のとおりである。

意識について（総数 35 件）

・男は男らしくあり、女は女らしくある、これが自然の法則である。女性の権利を主張するなら、女の義務を全うする。男も同じである。 (20 歳代・男性)
・男女平等の中でも、それぞれの「男らしさ」「女らしさ」は失ってならないと思います。それぞれの持つ役割を理解したうえでの男女共同参画社会づくりが必要だと思います。 (20 歳代・女性)
・個人の意見を尊重するのが基本。女性も就職等に参加できるしくみを構築するとともに、男性も育児に参加できる環境及び意識改革が必要。 (30 歳代・男性)
・社会全体のシステム作りや意識改革を積極的に行ってほしい。また、女性自身も男性と共に社会で活躍できるよう、自己を高める為の努力が必要である。 (30 歳代・女性)
・女性も都合の良い時だけ男女共同参画社会だから対等だといわず、まず何事にも積極的に参加する意識を持つべきである。 (40 歳代・男性)
・鹿児島（特に鹿屋は）まだまだ男が強く女は弱い。男らしさ、女らしさを要求される地域だと思います。根強い男尊女卑が残っているようです。男性の方が意識改革を求められているのではないのでしょうか。 (40 歳代・女性)
・男性、女性共に意識を変えていく必要があると思う。いろいろな生き方があっていいと思うが、男性も育児に参加し、女性だけに押しつける風潮は改善すべきだと思う。もっと男性も女性も人間として自立すべきだと思う。 (40 歳代・女性)
・男には男の生き方、女には女の行き方があるし、男だから女だからと物事を強要せず暮らせる世の中が一番だと思う。 (50 歳代・男性)
・現在男の人も昔に比べれば少しずつ変わりつつあります。両方とも努力していかななくてはならないと思います。 (60 歳代・女性)
・男女差別をなくすということは大事であるが、男性または女性でなければ出来ない仕事があります。そこにはお互いの理解が必要であり、あまりにも男女同等だと強調してはいけないと思います。(70 歳以上・男性)

家庭生活について（総数 8 件）

<p>・最近の女性は仕事優先的な考えが感じられます。自分も結婚願望が強い方なのですが、「この人で大丈夫かな？」と感じ、不安に思うことがあり、なかなか踏み込めない状態にあります。仕事優先的な考えを改めてもらえれば、男性の方も結婚に踏み切って、出産にも興味を持ってくれるのではないのでしょうか？</p>
<p>（30 歳代・男性）</p>
<p>・時代に逆行するようではあるが、基本は良妻賢母だと思っている。外に出て働くだけが女性ではなく、外では男性が安心して働き、その分女性(男女どちらでもいいが役割分担が必要)は家庭をしっかり守るというのも必要かと。中途半端な女性社会進出をすすめるのではなく、もっと家庭がうまくいくような根本的なことを考えてほしいと思う。</p>
<p>（40 歳代・女性）</p>
<p>・今の若い方達を見ていると、私達の頃とは違い、夫も子育てや家事に協力している人が多くなったと感じます。</p>
<p>（50 歳代・女性）</p>
<p>・子育ては容易ではありません。愛情を注ぐというのは気持ちだけでは困難で、ゆとりある時間がどうしても必要だと思います。</p>
<p>（50 歳代・女性）</p>

育児について（総数 13 件）

<p>・子育て支援の充実。収入の少ない人でも安心して子育てができるような制度が必要。</p>
<p>（20 歳代・男性）</p>
<p>・母子家庭・父子家庭の援助の差があまりにもあると思う。あまりにも父子家庭の援助が悪いと思う。父子家庭も育児は母子家庭と同じくらい大変なことだと思います。援助の差に疑問があります。そこは見直すことはできないのでしょうか？</p>
<p>（20 歳代・女性）</p>
<p>・赤ちゃんと一緒に行ける、入れる施設をたくさん作ってほしい。子供に優しい街づくりを。気軽に行ける親同士の交流の場が欲しいです。</p>
<p>（20 歳代・女性）</p>
<p>・低学年だとまだ一人で留守番をさせるには心配なので、安心して仕事ができるよう、学童保育所の整備をお願いしたい。</p>
<p>（30 歳代・男性）</p>
<p>・子供が病気の時など男性（父親）が、休みをもらうのは難しいので企業への働きかけや病児保育施設やその支援の充実を図ってほしいものです。</p>
<p>（30 歳代・女性）</p>
<p>・結婚後、不妊症の方がとても多い事を知った。鹿屋市内に不妊症専門病院の開院を強く望む。少子化の一因は”作らない”のではなく”授かることができない”のも一つ。私の知人（鹿屋市在住）は鹿児島市内の不妊専門病院へ通院し、高度な治療の未授かった方もいます。</p>
<p>（30 歳代・女性）</p>
<p>・娘の職場復帰で孫が保育園に通うことになりました。ところが認可の保育園の空きがないのです。児童手当を出すだけが少子化の歯止めではありません。保育園の定員を増やして欲しいです。</p>
<p>（60 歳代・女性）</p>

介護関係について（総数 4 件）

・男女共に、仕事、社会的活動に参加していくためには、育児、介護支援というのは、不可欠なものと思う。施設の充実それは基本だと思う。意識の向上と共に具体的な政策実行が必要です。（20 歳代・男性）
・介護は一人では大変です。援助が必要な場合、遠慮なく簡単に申し込める場があったらいいと思います。（50 歳代・女性）

仕事について（総数 13 件）

・県外から鹿屋に来たが、男尊女卑がまだ根付いていると感じた。企業内でのお茶くみや電話係など女性ではなくてもいいはず。事業主の教育が必要。（20 歳代・女性）
・女性が男性と同じように就職・能力の評価・昇進をしていく上で、まだまだ制度の見直し、雇用者の意識改革必要だと思う。（20 歳代・女性）
・女性の働きやすい職場とは、子供の急病時に職場の方々が快く理解し、対応してくれる所であると思う。採用の時点で、小さい子供がいれば断るところが多い。もう少し、企業側は育児をしている女性を理解してほしい。（30 歳代・女性）
・男性が育児休業や介護休業を取得しやすい環境を会社や社会に促すこともとても大事だと思う。男性が保育園のお迎えのために一時会社を抜け出したりしてもそれが普通なことだと思われるような社会を希望。（30 歳代・女性）
・民間企業では、やはり利益や会社のことを考え、男女参画は進んでないように思える（特に中小企業や個人事業の店など）。（40 歳代・男性）
・企業側は女性の能力の有る人材については、男性同様、昇進、賃金等の差別をなくす事が大切である。最近では男性より女性の方が真面目に仕事に取り組んでいると感じるが、評価されていない。（40 歳代・男性）
・経済的に自立できるよう働ける場所の確保が必要だと思います。経済的に余裕が出れば自分の身のまわりにも目が行くと思います。男性も女性もきちんと働けるところが欲しいです。（70 歳以上・女性）

教育について（総数 7 件）

・男女共同といっても、男性の方を優先したり、女性は家庭の中というのが多い気がする。小さい頃から家庭や学校教育で、男女共同の学習をしていくと、将来もっと良くなっていくと思う。（20 歳代・女性）
・教育の中で男女共同参画についての学習を充実させること。PTA 活動、子ども会などで男女共同参画に関する講演会などを行うこと。（60 歳代・女性）
・法律の制定や制度設計も必要ですが、何より重要なことは、家庭における子どもの教育をしっかりと実施することが必要です。家庭、地域、学校の 3 者がそれぞれしっかりと教育すれば、将来男女共同参画社会づくりに大いに寄与することになると考える。（70 歳以上・男性）

人権について（総数 6 件）

・男の方では、自分では何気ない行為であっても女性にとって、セクハラになっていることも多いので自覚を高められるような教育の場があれば良いと思います。	（20 歳代・女性）
・相手に対する思いやり、これが全てだと思う。	（50 歳代・男性）
・男女それぞれに相手の人格を認め、尊重しあう人格の形成が、何よりも必要だと思います。そして健全な社会、明るい仕事場、温かい家庭を築きながら、男も女も共存共栄していくことが大事であると思います。	（70 歳以上・男性）

地域活動について（総数 6 件）

・地域活動、P T A 活動等は女性の参加ばかりが目立っているように思う。もっと男性も P T A 活動等も参加すべきでは。	（30 歳代・女性）
・転職してきて、鹿屋市に住んで 4 年目になりますが町内会や近所付き合いでいろんな事で悩んだりします。男女共同参画社会づくりの活動がありましたらぜひ参加したいと思います。	（40 歳代・女性）
・これからもっと、いろいろと地域の会にはなるべく出席したいと思います。	（50 歳代・女性）

市の男女共同参画施策について（総数 24 件）

・男女共同参画社会づくり等活動を行う事は良いと思うが強制的な参加は止めてもらいたい。	（20 歳代・男性）
・今回、こういった活動があるということがわかる良いきっかけとなった。街にもっと目に付くポスターなどがあれば。	（20 歳代・女性）
・アンケートがとてもいい勉強になったし、自分がこの先どうして生きていけばいいのかを考えさせられた。	（30 歳代・女性）
・今回のアンケートで、どんな状況にあるのか、わかると思いますが、その結果を広報などで知らせる事が、大切だと思います。今どんな問題が鹿屋市で起きているのか、そしてどの方向に進むべきなのか。意識改革には、広報が重要だと思っています。	（30 歳代・女性）
・情報提供が欲しいです。	（40 歳代・男性）
・女性の男女共同参画の会合はいろいろとありますが、男性の方の意見を出し合う場を大いにとってほしい。	（50 歳代・女性）
・男女共同参画社会という言葉はよく耳にするが、何をどのようにした活動をやっているのか今一つわからない（見えてこない）。活動が一部の人のみにならないためにも努力が必要。	（50 歳代・女性）
・男女共同参画社会づくりにもっと多くのひとに話を聞いてほしい。私は会に参加しているのみだが、もっといろんな方が参加し知ってもらいたいです。	（70 歳以上・女性）

男女共同参画全般（総数 23 件）

<p>・個人によって必要な協力や制度が違うので、あらゆる方面から可能性と現実性を考慮して社会作りをしていくことが大切だと思う。</p>	<p>（20 歳代・男性）</p>
<p>・男女共同参画社会とは人が本来持っている性、男らしさや女らしさを否定することなく、男性であるが故に女性よりもしんどい思いをするのではなく、女性が女性であるが故に機会を与えられず、残念な思いをすることのない社会であって欲しいと思います。</p>	<p>（40 歳代・女性）</p>
<p>・労働時間の短縮、生活レベルの向上、育児介護支援制度の充実を行うことにより、男女ともに余暇時間を増加することが第一。現状では時間と金銭的余裕がないため、そのような活動，行動ができないのが庶民の感想だと思われます。</p>	<p>（40 歳代・男性）</p>
<p>・昔は男性の仕事とっていた分野へ女子が、女子の仕事とっていた分野へ男子が入って来ているように思う。時代が変わったことを実感しています。その中で、最終的には同じ平等にはいかない仕事もあるように思います。男女共同参画社会、お互いが出来ることを協力して、会議など平等に意見交換していいのではと思います。</p>	<p>（50 歳代・女性）</p>
<p>・男女共同参画社会づくりに協力して行きます</p>	<p>（60 歳代・男性）</p>